

事例検討会

薬をたくさん飲んでいる患者さんの療養生活、 こんな風に支えています

～薬剤師の役割、訪問看護師との連携、さらに広げたい多職種との連携～

「どうしてこのお薬を飲んでいるのかご本人もかかわっているスタッフも実は分かっていない」「利用者さんのご自宅へ訪問した際、大量の残薬を発見する」といった経験はありますか。

たくさんの種類のお薬を飲むことによる問題（ポリファーマシー）は、最近よく取り上げられるようになってきました。そんなとき、薬剤師の方に相談することによって状況が良くなることがあります。



今回は、14種類の薬を飲んでおり、薬剤師と看護師が協力して関わったある患者の例を通じて、内服管理へのアプローチのポイント、より良い在宅療養を提供するための多職種連携について、参加者の皆様とともに考えていきます。



■コーディネーター

ブルークロス駅前薬局

山中 雅史氏（薬剤師）

■パネリスト

大地訪問看護ステーション

榎本 絵里奈氏（看護師）

日時

令和4年5月27日（金）
19時00分～21時00分

定員

120名

（会場参加60名 ZOOM参加60名）

会場

区民・産業プラザCoconeriホール

申込方法

裏面の電子申請フォームより申込

※会場参加

会場に集まり、講義・ディスカッションを行う形式。
新型コロナウイルス感染症の拡大状況により
ZOOM参加になる場合がございます。

※ZOOM参加

ZOOMを使用し、講義・ディスカッションを行う
オンライン形式。

対象

練馬区内の事業所にお勤めの方

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・病院職員・ケアマネジャー・サービス提供責任者・介護士・リハビリテーション専門職・地域包括支援センター職員等

※定員を超えた場合、対象地区の石神井地域（〒177）の事業所を優先に受け付けます。

申込

●申込方法：以下の方法で、インターネットによりお申し込みください。

①電子申請フォームを使う

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1648522390442>

②QRコードを読み取る

②QRコードを読み取る

●申込〆切：令和4年5月13日（金）

※参加費用は無料です。

※参加申し込みの結果については、受講日の1週間前頃までに、区から参加決定通知書または不参加通知書を送ります。届かない場合は以下までご連絡ください。



問い合わせ：練馬区地域医療課医療連携担当係 電話 03-5984-4673

E-mail IRYOSHISSETSU@city.nerima.tokyo.jp

会場参加希望の皆様へ

- ◆当日は自宅で検温し、体調に問題がないことを確認してからお越しください。
- ◆室内ではマスクの着用にご協力ください。
- ◆入退場やトイレの列は前後の距離を置いて並んでください。
- ◆新型コロナウイルス感染症の拡大状況により完全オンラインでの開催になる可能性がございます。

事例検討会とは？

在宅療養に関わる医療・介護の多職種が相互理解を深めるため、多職種で集まり事例の紹介やグループワークを行う会です。練馬・光が丘・石神井・大泉の4地区ごとに行っています。

詳細は下記URLをご覧ください！

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/hokenfukushi/iryozaitaku/jireikentou/index.html>

本事業は、生涯教育制度の対象事業です。

- 日本医師会：1.5単位 カリキュラムコード：10
- 日本歯科医師会：4単位
- 日本理学療法士協会：地域包括ケアシステムに関するリーダー制度

※日本薬剤師研修センターのポイント発行は、行われないこととなりました。ご注意ください。

※当日事例検討会に参加された方のうち、希望者には事例検討会当日に参加証明書を配布します。（ZOOM参加で希望される方には、後日事業所宛てに郵送いたします）

皆様のご参加
お待ちしております！



主催：練馬区地域医療課

後援：練馬区医師会（予定）、練馬区歯科医師会、練馬区薬剤師会、東京都理学療法士協会